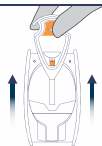


ご使用前に
お読み
ください

本キットの取扱い及び検査対象物の取扱い時には、保護措置として手袋及びゴーグルの装着が必要です。ユニットに穿孔しないでください。一旦ロックしたプローブは取り外さないでください。万が一内包液体が漏れた場合、液体の付着した箇所を水で洗い流してください。子供の手の届かない場所で保管ください。全て推奨結果となります。必要に応じて、薬物検査機関にて検査を行うことにより詳細な識別を行う事ができます。

テストの準備

1 Smart-Tip™
プローブを取り外し
てください。



2 疑わしい物質もしくは物体表面からサンプルを採取

パウダーの場合

錠剤

Smart-Tip™で
疑わしい物質の
サンプルを採取
します。

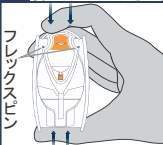


Smart-Tip™プローブ
をタブレットにしっかり
と押し付けながら、
先端が完全に物質で
覆われるまで円を描く
ようにこすりします。



テストの準備

3 Smart-Tip™
プローブをテスト
ユニットに固定し
ます。しっかりと
押し込んで下さい。

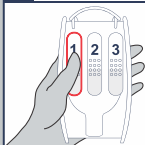


注意

プローブがフレック
スピンで固定されな
いままテストを行わ
ないでください。

検査

4 親指を押し込んで
チェンバー1内の
カプセルを
割ります。



5 テストユニットを
2~3秒やさしく
シェイクします。



結果

1分以内に赤色系・オレンジ色が現れたら、
アンフェタミンまたはメタンフェタミンの存在を示しています。

1分以内に紫色が現れたら、ヘロイン、モルヒネ、
コデインなどのアヘンが検出されたことを示します。

濃い紫色から黒色の外観は、エクスタシー
/MDMAまたは同類の存在を示しています。



1分以内に上記の色が出なければ、
上記の薬物は存在しません。



発色の有無にかかわらず、
希釈(ステップ6~9)に進みます。



サイド 2 に続く

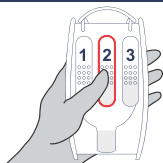


サイド2

希釈（液体を混ぜる）

6

親指を押し込んで
チェンバー2内
のカプセルを割ります。



7

テストユニットを
2~3秒やさしく
シェイクします。



テストウィンドウの温度が若干上がります。
これは正常です。

希釈（液体を混ぜる）

8

親指を押し込んで
チェンバー3内
のカプセルを割ります。



9

テストユニットを
2~3秒やさしく
シェイクします。



テストウィンドウの温度が若干上がります。
これは正常です。



廃棄方法

希釈後のテストキットは、ゴミ箱に捨てても問題ありません。

JPN
0722

オンライン説明書

<https://adva-tech.co.jp/tkm/>



重要事項

1. IDenta Touch&Know[™] Discreet Drug Test Kitsは、粉末や結晶などの物質中の特定の薬物の存在を測定するために使用されます。
2. すべての結果は推定です。必要に応じて、有能な薬物検査室による更なる検査で、さらなる検証を行うことができます。
3. 色の変化は、最初の1分間で起こった場合のみ、リストに記載された薬物の陽性結果を示す。
4. 最初の1分間で色の変化がない場合、リストに記載されてある薬物は検査対象サンプルに含まれていません。
5. 1分後、サンプラーと液体が変色し始めることがありますが、これは検査過程の正常な部分であり、この色の変化には意味はありません。

重要事項